

2006年度NPO法人JAFSA(国際教育交流協議会)事業計画

2006年4月1日～2007年3月31日

1.国際教育交流に関わる研究会、研修会およびシンポジウムの実施

(1)月例研究会の実施(担当:企画委員会)

- ・年間、全国で計12～13回の月例研究会の企画・運営を実施する。
- ・法務省入国管理局による申請取次者講習会(関東、中部、関西)の他、各種研究会等を実施する。
- ・講演会やパネルディスカッション形式以外に、ファシリテーターを置き、参加者が情報を持ち寄り、それをもとに議論を行う形式による実施を試みたい。
- ・その他、実務英語講座(メール通信、大学紹介の効果的なプレゼンテーション方法、パワーポイント等)、カウンセリング入門等を企画・実施したい。
- ・なお、ニーズがある場合には同内容の研修会の複数回実施も検討したい。

(2)研修会の実施(担当:研修委員会)

プロフェッショナル育成プログラム(PDP)としての位置づけをより明確で有効なものとし、研修プログラム全体を、「初級」「中級」「上級」の段階的な研修として組み立てる。国際交流担当の人材育成のための総合的なプログラム作りを目指す。

【初級(経験年数3年未満)】

- ①「国際教育交流初任者コース(受入れ)I」、6/1(木)-3(土)(於・南山学園研修センター)
- ②「国際教育交流初任者コース(送り出し)I～英語圏～」、9月(1泊2日)関東地区
- ③「国際教育交流初任者コース(受入れ)II～多文化間メンタルヘルスを中心にして～」、11/3(金)-5(日)(於・コープイン京都)
- ④「国際教育交流初任者コース(送り出し)II～アジア圏」、1月(2泊3日)九州地区

【初中級(経験年数5年未満)】

「国立大学法人等のための国際教育交流実践コース」、6/23(金)-24(土)(於・東北大学)

【中上級(経験年数2年以上)】

「国際教育セミナー(中上級コース)」、10月(2泊3日)関西地区

【管理職のための国際教育交流実践コース】

8月下旬(2泊3日)関東地区

【文部科学省共催 国際企画担当職員研修】

11/27(月)-29(水)(於・(独)国立オリンピック記念青少年総合センター)

(3)講演会の実施

JAFSA通常総会において、講演会を開催する。

日時:6月19日(月) 15:00より

場所:早稲田大学小野記念講堂

講演者:池田 輝司 氏(文部科学省高等教育局学生支援課留学生交流室長)

(4)JAFSAサマーセミナー2006の実施

日時:8月2日(水)～4日(金) 2泊3日

場所:立命館アジア太平洋大学

2.国際教育交流に関わる国内外諸機関・団体との交流および支援

(1)海外同種団体との交流(担当:渉外委員会)

- ①米国NAFSA年次総会において、JAFSAセッションを実施し、発表者を派遣する。
- ②欧州EAIE年次総会において、JAFSAセッションを実施し、発表者を派遣する。
- ③アジアでは従来どおり中国(CAFSA)、韓国(KAFSA)・(KAIE)、欧米では米国(NAFSA)、ヨーロッパ(EAIE)等の同種団体との連携・交流を促進すると共に、アジアのネットワーク形成を目指す。APPLE、オーストラリア、および米国(AIEA)なども視野に入れ、交流を促進する。

(2)国内関連団体との交流(担当:組織委員会)

関係省庁等との懇談会を実施し、また、留学生奨学団体連絡協議会(JISSA)、(財)日本語教育振興協会(日振協)等との連携の強化・交流を促進する。

3.国際教育交流に関する調査および提言

(1)調査・研究助成プログラムの実施

留学生および国際教育交流に関する調査・研究に総額200万円を上限として助成する。また、理事会を通して委託すべき調査研究テーマが提案された場合は、検討の上、研究委託も実施する。

(2)部会の活動

情報交換等を活発にし、部会による活動を推進する。現在、承認されている部会は以下のとおり。

海外留学部会

奨学金部会

地域交流部会

日本語教育部会

入学選考・リクルート部会

入国在留部会

ハウジング部会

フォローアップ部会

留学生アドバイザー部会

(3) テーマ別研究グループ (SIG=Special Interest Group) の活動

SIGの活動を推進する。現在、承認されているSIGは3つあり、以下のとおり。

①CREATES (China Related Advanced Training For Educators:中国学習班)

中国との教育交流について専門的に取り上げて活動する。

②国際教育交流情報化研究会

会員の知識・情報交換の場でもあるJAFSAメーリングリスト[hiroba]における質問事項を抽出し、リライトして一般化し、会員が共有できるものとする。

③多文化間メンタルヘルス研究会

関連学会などとも連携を取りながら、外国人留学生・海外派遣学生のメンタルヘルスなどについても採り上げる。

(4) 提言

国際教育交流に関する提言のための基本調査および案の検討を行う。

4. 国際教育交流に関わる出版物・会報等による普及・啓発および資料・情報の収集・提供

(1) 出版物・会報の発行 (担当:出版・広報委員会)

・NEWSLETTERを発行する。年4回。

・JAFSAブックレットの作成の支援にあたる。

(2) 広報活動

①JAFSAパンフレット等の改訂準備を行う。

会員倍増プロジェクト (担当:組織委員会)

②2003年度から5年間の期間を設定して取り組んでいる会員倍増プロジェクトを本年度も推進し、会員のリクルート活動を実施する。

【JAFSA未加入の教育機関等へのアプローチ】

非団体会員大学をはじめ、日本語学校および専門学校への広報活動を継続する。

【企業へのアプローチ】

留学生への就職支援に重点を置いた企業との関わりを考え、最終的には多くの企業に賛助会員になってもらうことを前提に、情報提供、事業の企画などを検討していく。

【マスコミへのアプローチ】

JAFSA主催のイベントなどにつき、マスコミへ情報を積極的に提供する。また、メディア上に執筆する機会があれば、JAFSAIについて積極的に書く。

【政治家・関係省庁等へのアプローチ】

昨年度は休止状態であった、JAFSAのプレゼンスを高め、ネットワークを築くため実施してきた国際教育交流フォーラム(朝食会)を再開、財界、官界関係者を招き、積極的にプレゼンスを示すよう努める。さらに、2004年度JAFSA大会で発表したJICAとの連携に関しては、具体的な成果に結びつけるためのアクションプランを立案する。

【海外関係団体へのアプローチ】

引き続き、プリティッシュ・カウンスルおよび各国大使館等と共催で、日本と海外の高等教育機関との交流会を実施し、海外関係団体との連携を強化、相互の交流を促進すると共に、JAFSAとこれらの団体との連携をアピールする。

5. 国際教育交流に関するホームページおよびメーリングリストの運営 (担当:出版・広報委員会)

①WeblogとWikiを利用したホームページへの移行とそれにとりあう調整をしつつ、引き続き下記の取組みを行なう。

(1) 各委員会、部会毎のページの設定方法の衆知

(2) 英語版を始めとする多言語によるJAFSA紹介ページの作成

(3) 会員サポートのためのページ充実(サマーセミナーや各種行事の紹介を含む)

(4) 引き続きJAFSA Newsletterの目次の公開

②JAFSAメーリングリストの運営

6. 創立40周年記念事業

創立40周年記念事業準備委員会(仮称)を立ち上げ、2008年のJAFSA創立40周年記念事業の企画・準備に着手する。

通常総会・理事会・常務理事会・委員会の開催

1 通常総会の開催

日 時:6月19日(月)

場 所:早稲田大学小野記念講堂

2 理事会・常務理事会の開催

理事会を年2回、常務理事会を年3~4回程度開催予定。

3 委員会の開催

委員会毎に、年間1~2回開催予定。

現在の委員会は以下のとおり。(2006年6月19日現在)

(1) 組織委員会 (2) 企画委員会 (3) 研修委員会

(4) 出版・広報委員会 (5) 渉外委員会

- (6)会則改正委員会 (7)選挙管理委員会
※「サマーセミナー」実行委員会については、特別委員会として別途募集の予定。

2006年度各委員会委員

(2006年6月19日現在:各委員会の担当常務理事は未定)

【組織委員】6名

- 1 浅野祥司(日本大学学務部国際課)
- 2 太田 浩(一橋大学商学研究科)
- 3 白石勝己((財)アジア学生文化協会留学生相談室)
- 4 高田幸詩朗(国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部TOEFL事業部)
- 5 武田里子(夢つくす(うおめま国際交流協会))
- 6 堀江 学(日本学生支援機構留学情報センター)

【企画委員】17名

- 1 筆内美砂<委員長>(名古屋大学留学生センター)
- 2 海老原玉奈
- 3 加藤統久(四天王寺国際仏教大学国際交流センター)
- 4 関 道子(北海道大学留学生センター)
- 5 高木ひとみ(名古屋大学 留学生センター)
- 6 谷口勝浩(大阪国際大学国際交流センター)
- 7 中島美樹子(東北大学大学院工学研究科国際交流室)
- 8 中本進一(埼玉大学留学生センター)
- 9 比奈地康晴(埼玉大学学務部全学教育課)
- 10 カリン・ヒレン(政策研究大学院大学 International Student Advisor)
- 11 藤橋帥子(東京大学留学生センター)
- 12 堀江未来(名古屋大学留学生センター)
- 13 松尾 隆(成蹊大学企画運営部入試課)
- 14 松崎正隆(早稲田大学大学院社会科学部研究科・社会科学部)
- 15 松浦まち子(名古屋大学留学生センター)
- 16 油原ゆう子(千葉大学企画総務部国際課長)
- 17 渡部留美(大阪大学大学院工学研究科留学生相談室)

【研修委員】12名

- 1 服部 誠<委員長>(中部大学)
- 2 阿部 仁(ウェスタンミシガン大学日本連絡事務局)
- 3 大橋敏子(京都大学工学研究科)
- 4 笹田千鶴(日米教育委員会留学相談サービス)
- 5 塩川雅美(京都工芸繊維大学)
- 6 富田勇一(横浜市立大学国際交流センター)
- 7 中くみ子(関西外国語大学国際交流部)
- 8 中島美樹子(東北大学大学院工学研究科国際交流室)
- 9 森谷祐一(東北大学大学院工学研究科国際交流室)

- 10 八木章公(亜細亜大学国際交流課)
- 11 山口佳子(広島経済大学国際交流室)
- 12 渡邊美由紀(日米教育委員会留学相談サービス)

【渉外委員】14名

- 1 ジョージ R. ハラダ<委員長>(広島経済大学国際交流室)
- 2 青木久美子(独立行政法人メディア開発センター)
- 3 飯島有美子(関西国際大学経営学部)
- 4 今関 進(専修大学入学センター入学課)
- 5 太田 浩(一橋大学商学研究科)
- 6 切通しのぶ(熊本学園大学国際交流センター)
- 7 工藤和宏(獨協大学外国語学部)
- 8 栗林健太(日本大学本部研究総合事務局事務課)
- 9 坂本友香(関西外国語大学国際交流部)
- 10 柴田幹夫(新潟大学国際センター)
- 11 円谷 恵(国際基督教大学教務部)
- 12 西川修治(亜細亜大学国際交流課)
- 13 マリーゴールド・ホームズ(日米教育委員会)
- 14 横尾佐世(東京大学経済学部)

【出版・広報委員】8名

- 1 西ヶ谷洋司<委員長>(日本大学国際関係学部学生課)
- 2 井村倫子(一橋大学経済学研究科)
- 3 岡村光浩(JAFSA事務局)
- 4 北尾秀次(法政大学国際交流センター)
- 5 五所恵実子(東京大学理学系研究科理学部国際交流室)
- 6 塩川雅美(京都工芸繊維大学)
- 7 横尾佐世(東京大学大学院経済学研究科)
- 8 渡部留美(大阪大学工学研究科留学生相談室)

【会則改正委員】6名

- 1 芦沢真五(大阪大学工学研究科留学生相談室)
- 2 白土 悟(九州大学留学生センター)
- 3 高田幸詩朗(国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部TOEFL事業部)
- 4 角田英一((財)アジア21世紀奨学財団)
- 5 堀江 学(日本学生支援機構留学情報センター)
- 6 横田雅弘(一橋大学留学生センター)